



地域支えあいニュース

第12号 平成29年9月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812
E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

生活支援体制整備事業第1回勉強会開催

すでに市内では、3地区(寺尾南、上土棚、吉岡)の“ささえあい井戸端会議”が発足しています。そして、プロジェクトチームでは、残り11地区の発足を目指して、今年度の取組みを開始しました。



第1回勉強会

平成29年9月9日(土) 綾瀬市オーエンス文化会館小ホール
参加者8地区141名

さわやか福祉財団の長瀬さんをお招きして「目指す地域像の実現に向けた地域の基盤づくり〜地域におけるそれぞれの役割〜」というテーマで、午前と午後の2回、ご講演いただきました。

参加者アンケートより

- 大変面白い興味ある講義でした。協議体スタイルはトライしてみたいことです。
- 何度か聞き、やっと少し理解できたかなと思っています。住みよい地域になるようにしたいと思います。
- 興味はあるが自治会、地区社協、などをやっているため時間を取ることが難しい。事例が欲しい。
- 今日の勉強会を参考にし、みなさんの手を借りて地域作りをしたい。ぜひ協議体を立ち上げたい。
- 市や県がバックアップとなっているが機能するのか？ 自分の地域も大変なのに成り立つのか？
- 今後この事業を周知させ、住民に広く伝えていく必要があると感じた。
- 協議体の大切さはわかったが、その仕組みができた先にはどのようなことになっていくのかがわからなかった。
- 地域情報共有の協議体と聞いたとき、確かにそれぞれの団体はあるけれど、共有まで出来ていなかったと思う。



参加された皆様のアンケートを読ませていただくと、「共感して立ち上げに向けて取り組んでいきたい。」という方もいれば、「考え方は理解できるが、本当にできるのか?」「たくさんの役を地域で担っているので参加するのは難しい。」といった回答が多くありました。

なかなか国の制度を完全に理解することは難しいです。

そこで、もっと具体的に「何をするのか?」「助け合い活動ってどんなものなのか?」を知っていただく第2回勉強会へとつながっていきました。(第13号につづく)